

# 令和5年度

## 理事会(第34回)・幹事会(第16回)・3委員会合同会議

令和5年4月27日(木) 秋田キャッスルホテル「放光の間」



### 議案

- 第1号議案 令和4年度事業報告・収支決算の承認(監事による監査報告)
- 第2号議案 令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)
- 第3号議案 幹事の選任(案)
- 第4号議案 新入会員の承認
- 第5号議案 令和5年度定時総会の開催
- 報告事項 任期満了に伴う委員会委員候補者の支部推薦依頼



第34回理事会、第16回幹事会及び3委員会の合同会議が4月27日(木)秋田キャッスルホテルで開催された。今回の会議には定時総会に向け、令和4年度の事業・収支決算報告、令和5年度の事業計画(案)・収支予算(案)を含め合計5本の議案と報告事項が提出され、全会一致で承認された。

会議の冒頭、湊屋会長が挨拶を行い、「マスクの着用が個人の判断に委ねられることになったが、接客を伴う業種においては、マスクを外すという判断には至っていない。意外であったのが卒業式、入学式での若い人も、まだまだ着用派が多数派であったこと。また、JRで県外出張の際、停車の度、降りる度、駅構内の様子を見るとマスク着用派が圧倒的で、改めて日本人の安全へのこだわりの強さ、あるいは同調意識の高さを感じた。連休明けからはコロナの感染法上の取り扱いが5類へ変更されるが、私たちが一歩踏み出す絶好の機会になればいいと願っており、社会経済活動のさらなる正常化に繋がることを期待している。」と述べた。

議案審議は、はじめに令和4年度の事業・収支決算報告が審議され、コロナ禍の影響が強かった令和3年度と比較し、事業では、定時総会の開催、新年経済講演会および賀詞交換会のフル開催はじめ、各会議ともすべて開催できたこと、また、セミナーの受講者数もコロナ禍前の本来の姿に戻ってきたことが報告された。これに伴い、収支決算においても事業収入、事業費ともに増加したことが報告された。

令和5年度については、定時総会、新年経済講演会および新年賀詞交換会、各会議等従来通り実施することし、これに合わせた収支予算(案)が提案され、承認となった。

続いて、幹事の選任(案)、新入会員3社の加入、6月6日定時総会を秋田キャッスルホテルにて開催することが承認された。

最後に、事務局から任期満了に伴う委員会委員候補者を支部あて推薦依頼する旨の報告があった。

【文責：事務局】